

## WCS 用稲品種選定のポイント（極短穂茎葉型品種の紹介）

近年、栽培面積が増えている極短穂茎葉型品種（つきすずか、つきあやか、つきはやか）は、籾が少なく、茎葉が多いのが特徴です。高品質で牛の嗜好性も良く、高収量で倒伏しにくい品種です。極短穂茎葉型品種利用で収量アップ、飼料自給率アップを図りましょう！

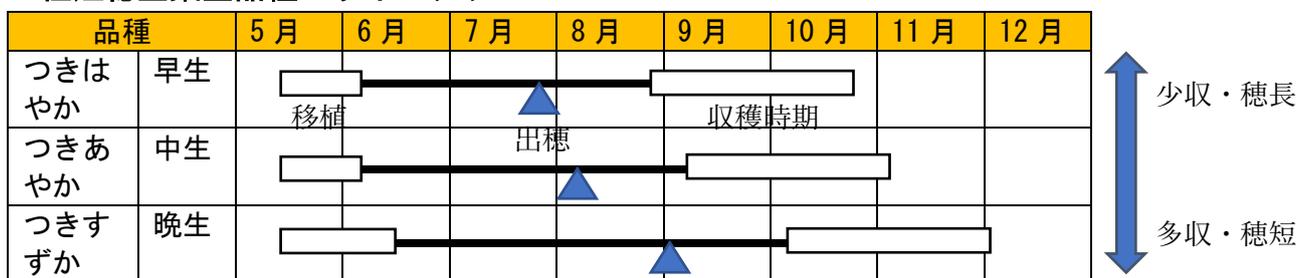
### ■飼料用稲・飼料用米の奨励品種

品種名	早中晩	採用年次	稈長 (cm)	地上部乾物全重 (kg/10a)	粗玄米重 (kg/10a)	耐倒伏性	耐病性		耐冷性	脱粒性	穂発芽性	適用地帯			利用適性	
							いもち病	縞葉枯病				県南	県央	県北	稲発酵粗飼料	飼料用米
夢あおば	早	H28	87 (95)	1,980 (1,932)	710 (750)	強	不明	抵抗性	やや弱	難	中	◎	◎	◎	◎	◎
つきはやか	早	R3	105 (112)	2,103 (1,973)	304 (367)	強	不明	抵抗性	強	難	—	◎	◎	◎	◎	×
月の光	早	R6	86	1,870	627	強	強	抵抗性	不明	難	やや難	◎	◎	◎	×	◎
つきあやか	中	R3	110 (117)	2,131 (2,071)	150 (81)	強	不明	抵抗性	やや強	難	—	◎	◎	◎	◎	×
クサホナミ (認定品種)	晩	H22	100 (106)	2,234 (2,166)	877 (806)	強	不明	抵抗性	—	難	やや易	◎	◎	○	◎	○
つきすずか	極晩	H30	134 (122)	2,966 (2,824)	9 (61)	強	不明	抵抗性	弱	難	—	◎	◎	◎	◎	×

※基肥窒素量 12kg/10a、【月の光のみ 基肥窒素量 6kg/10a 追肥窒素量 2kg/10a】

栽植密度 22.2 株/m<sup>2</sup>、5月移植、( ) 内は6月移植の数値

### ■極短穂茎葉型品種のラインナップ



つきはやか（早生種）



つきあやか（中生種）



つきすずか（極晩生種）



